

Technical Report Documentation Page

1. Report No. UMTRI-2014-29		2. Government Accession No.		3. Recipient's Catalog No.	
4. Title and Subtitle CAFE 基準と新しい軽量車両の実際の CAFE パフォーマンスの比較：2014 年モデルまでの更新				5. Report Date October 2014	
				6. Performing Organization Code 383818	
7. Author(s) Brandon Schoettle and Michael Sivak				8. Performing Organization Report No. UMTRI-2014-29	
9. Performing Organization Name and Address The University of Michigan Transportation Research Institute 2901 Baxter Road Ann Arbor, Michigan 48109-2150 U.S.A.				10. Work Unit no. (TRAIS)	
				11. Contract or Grant No.	
12. Sponsoring Agency Name and Address The University of Michigan Sustainable Worldwide Transportation				13. Type of Report and Period Covered	
				14. Sponsoring Agency Code	
15. Supplementary Notes Information about Sustainable Worldwide Transportation is available at http://www.umich.edu/~umtriswt .					
16. Abstract <p>2012 年 8 月、米国環境保護局(EPA)と米国運輸省道路交通安全局(NHTSA)は、2017 年から 2025 年までのモデルに対する新しい燃料経済性を管理する最終的な基準を公表した。新しい基準は、1 マイルあたり、平均で年間約 5%の CO2 排出量削減に基づき、新しい軽量車両の各年式の企業別平均燃費 (CAFE) のさらなる向上の継続を求めている。本報告では、最近の燃料経済性の改善と NHTSA によって予測された CAFE パフォーマンス・レベルを比較している。本報告は、以前のレポート(Schoettle and Sivak, 2013)に 2014 年モデルのデータを含めて分析を更新したものである。</p> <p>現在の基準において NHTSA によって達成されると予測されたパフォーマンス・レベルと比較した場合、CAFE パフォーマンスにおける最近の傾向は 2012 年、2013 年および 2014 年の各モデルの CAFE パフォーマンスが予測されたレベルを上回ることを示している。最初の三年間は現在の基準が有効であることを示している。その上、達成される CAFE パフォーマンスは、2008 年モデルから 2014 年モデルまで毎年一貫して増加している。もし、年々改善されている現在の傾向が続けば、将来成し遂げられる CAFE パフォーマンスは最新の CAFE 基準に含まれる予測されるパフォーマンス・レベル (および温室効果ガス削減の要望) を満たすか、超え続けることが予測される。</p>					
17. Key Words 燃料経済性、燃費、CAFE、企業別平均燃費、GHG、温室効果ガス、排出、軽量車両、達成される CAFE、予測される CAFE				18. Distribution Statement Unlimited	
19. Security Classification (of this report) None		20. Security Classification (of this page) None		21. No. of Pages 11	22. Price